

特別調査 「2019年の経営見通し」

問1. 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い
合計(構成比)	0.0	4.7	8.8	46.8	28.6	9.4	1.7
合計件数	0	8	15	80	49	16	3
製造	0	1	4	18	9	3	0
卸売	0	0	1	5	2	0	0
小売	0	3	3	18	20	9	2
サービス	0	0	2	19	6	2	1
建設	0	4	5	20	12	2	0

* 2019年の日本の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が13.5%、「悪い」(「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計)と回答する割合が39.7%となった。この結果、「良い」-「悪い」は△26.2%と、1年前の調査(△42.8%)と比べ、16.6ポイントの上昇となった。業種別では、小売業が△45.3%と慎重な見通しが強くなっている。他は、サービス業△23.3%、製造業△20.0%、卸売業△12.5%、建設業△11.7%となっている。

問2. 貴社では、2019年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い
合計(構成比)	0.0	4.1	6.4	47.9	32.2	7.6	1.8
合計件数	0	7	11	82	55	13	3
製造	0	1	2	18	12	2	0
卸売	0	0	0	5	3	0	0
小売	0	1	2	19	21	10	2
サービス	0	0	2	19	8	0	1
建設	0	5	5	21	11	1	0

* 2019年の自社の業況見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が10.5%、「悪い」(「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計)と回答する割合が41.6%となった。この結果、「良い」-「悪い」は△31.1%と、1年前の調査(△41.0%)と比べ、9.9ポイント上昇した。業種別では、小売業が△54.6%と慎重な見通しが強くなっている。他は、卸売業△37.5%、製造業△31.4%、サービス業△23.3%、建設業△4.7%となっている。

問3. 2019年において貴社の売上額の伸び率は、2018年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少
合計(構成比)	1.2	0.6	5.7	11.1	51.5	19.9	8.8	0.6	0.6
合計件数	2	1	10	19	88	34	15	1	1
製造	0	0	3	7	18	6	1	0	0
卸売	0	0	0	0	6	2	0	0	0
小売	0	0	1	4	24	16	8	1	1
サービス	1	0	1	3	15	10	0	0	0
建設	1	1	5	5	25	0	6	0	0

* 2019年の自社の売上額見通し(伸び率)は、「増加」が18.6%、「減少」が29.9%となった。この結果、「増加」-「減少」は△11.3%と、1年前の調査(△16.7%)と比べ、5.4ポイント上昇となった。業種別では、小売業が△38.2%、卸売業△25.0%、サービス業△16.8%となる一方、建設業13.8%、製造業8.6%とプラスとなっている。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. すでに上向いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	8.8	4.1	11.7	7.0	5.8	5.8	56.8
合計件数	15	7	20	12	10	10	97
製造	5	2	5	3	3	1	16
卸売	0	0	2	0	0	0	6
小売	3	0	6	5	4	4	33
サービス	2	2	3	2	0	2	19
建設	5	3	4	2	3	3	23

* 自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」と回答する割合が8.8%で、1年前の調査(5.2%)と比べ、3.6ポイント上昇した。また、「6ヵ月以内」や「1年後」とする比較的前向きな回答の割合は、15.8%で、1年前の調査(25.4%)と比べ、9.6ポイント下降した。一方、「業況改善の見通しは立たない」とする回答の割合は56.8%で、1年前の調査(42.8%)と比べ、14.0ポイント上昇し、厳しい業況が続いていることが窺える結果となった。

問5. 2018年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象を1～5の中から1つ選んでお答えください。また、受けた影響について、最も当てはまるものを6～10の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1.地震・噴火	2.台風・豪雨	3.豪雪・寒波	4.猛暑	5.特づい	6.売上・受注の減少	7.仕入・調達・納期の遅れ	8.店舗設備や工場等の損壊	9.影響を受けなかった	10.復旧需要など、むしろ好影響があった
合計(構成比)	43.9	15.8	1.2	1.8	37.4	25.7	31.6	3.5	35.1	4.1
合計件数	75	27	2	3	64	44	54	6	60	7
製造	10	12	1	0	12	6	11	4	13	1
卸売	6	1	0	1	0	1	6	0	1	0
小売	29	5	1	1	19	19	19	2	13	2
サービス	14	1	0	1	14	8	6	0	15	1
建設	16	8	0	0	19	10	12	0	18	3

* 2018年は、2月の大雪、9月の台風・胆振東部地震と自然災害の多い年となった。最も影響を受けた自然災害や異常気象でも、「地震」が43.9%、「台風・豪雨」が15.8%と高い割合になっている。災害等で受けた影響については、地震による影響が多く、停電や物流ストップ等から、「仕入・調達・納期の遅れ」が31.6%と最も高く、次いで、品薄や営業停止、個人消費の自粛などから、「売上・受注減少」が25.7%となっている。

～調査員のコメントから～

- 町内秋サケの水揚げ低調で、原材料不足と魚体が小さく「筋子」の加工も低調。(製造業)
- 秋サケ漁が好調となり、売上、収益ともに増加した。(製造業)
- 秋サケ等の不良により、木箱の注文が減少した。(製造業)
- 地震によるリフォーム等の受注が増加した。(建設業)
- 個人住宅新築工事を多く受注している。2年先まで予約が入っている。(建設業)
- 年末から春先にかけての工事受注しており、先行きは明るい。(建設業)
- 震災後の個人消費の自粛が強まり、売上が減少した。(小売業)
- 原油価格高騰により売り上げ増加するも、収益は前年並みとなった。(小売業)
- 震災の影響で、家具を入れ替える家庭が増え、売り上げ増加となった。(小売業)
- 原油価格の高騰が価格上昇に波及し、収益低下の要因となっている。(サービス業)
- 人手不足となっており、生産性向上のため社員教育を行っている。(サービス業)
- 台風の影響で、キャンセルが増加した。(サービス業)